

ク ル マ と ク ル マ を つ な ぎ 、 人 の 心 を つ な ぐ

# USS NOW

株式会社 ユー・エス・エス

## 第33期 中間インベスターーズガイド

2012年4月1日～2012年9月30日



(証券コード:4732)



USS名古屋 新会場 完成予想図

01

## オートオークション事業開業30周年



**総勢500名をお招きし  
USS名古屋 開場30周年  
感謝の集いを開催**



閉会の挨拶をする代表取締役副社長瀬田大

当社は、1980年10月に設立し、その後約2年の準備期間を経て、1982年8月23日に、愛知県東海市に常設オートオークション会場「USS名古屋」を開設し、今年で30周年を迎えました。

去る2012年9月6日、これまでの30年間当社をご愛顧いただいた会員の皆様、ご支援いただいた取引先の皆様など総勢500名をお招きし、USS名古屋開場30周年感謝の集いを開催いたしました。冒頭挨拶に立った当社代表取締役会長兼社長の安藤之弘は、創業当時から現在に至るまでご支援ご協力いただいた皆様への御礼を申しあげるとともに、USS名古屋の新会場着工について説明をいたしました。

## USS名古屋新会場着工開始

02

USS名古屋は、今から30年前の1982年8月に愛知県東海市の丘陵地帯である名和町に開場いたしました。その後、1996年4月に名古屋港最大の自動車積出拠点となる新宝埠頭に程近い、東海市新宝町に移転し、立体型ストックヤードを含め約10,000台の車両を収容する中部地区最大のオートオークション会場となりました。

この度、USS名古屋は中部地区における更なる市場シェア獲得に向けて、約2,000台の立体型ストックヤードを併設するオートオークション会場を新築する運びとなりました。新会場は、2012年12月3日に起工式を執り行い、来年、2013年8月の稼働を予定しております。

**USS名古屋  
新会場建築概要**

構造／7階建て (屋上を含む8層構造)
○1階事務所
○2階オークション施設
○3階～8階ストックヤード
-----
建築面積／15,340m <sup>2</sup>
-----
床面積／72,105m <sup>2</sup>
-----
オークションホール／1,350席 同時10レーン方式を採用
-----
食堂・カフェテリア／690席
-----
立体ストックヤード／2,000台収容 名古屋会場全体の収容台数は 12,000台 (来客駐車場等を含む。)
-----
キャリアカー40両の搬入出ヤード



USS名古屋 新会場 完成予想図



代表取締役会長兼社長  
安藤 之弘

営業利益、経常利益、四半期純利益ともに過去最高益を更新  
業績予想を達成し、過去最高益を更新

株主の皆様におかれましては、日頃より当社の活動に多大なるご理解とご支援をいただいておりますことを感謝と御礼申し上げます。

さて、2013年3月期第2四半期連結累計期間の業績は、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに過去最高益を更新することができました。また、2013年3月期連結会計年度の1株当たり年間配当金の予想は、2012年11月6日付で期末配当を131円50銭から140円に上方修正いたしました。これにより、当連結会計年度における1株当たり年間配当金の予想は、301円50銭（中間配当と併せて実施したオートオークション事業開業30周年記念配当30円を含みます）となり、前期と比較して57円50銭の増配と予想しております。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申しあげます。

2012年12月

2013年3月期 第2四半期 決算報告

当第2四半期累計期間の国内自動車流通市場は、昨年12月から本年9月まで実施された政府の経済対策であるエコカー補助金制度の効果等により新車購買需要が喚起され、新車登録台数は259万台（前年同期比33.5%増）となりました。中古車流通市場は、好調な新車販売を受け、新車買い替え時の下取り車が増加したことなどから中古車登録台数は327万台（前年同期比7.6%増）となりました。（※1）

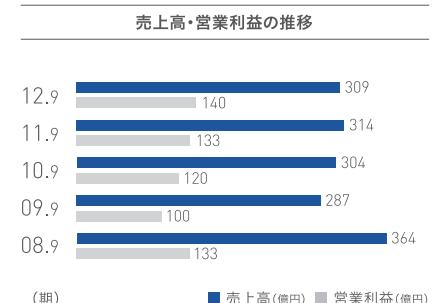
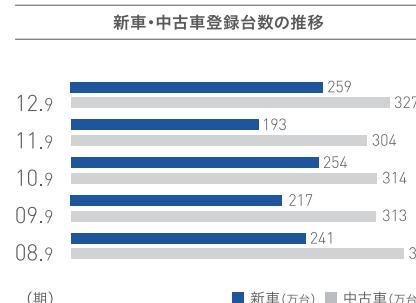
この結果、オートオークション市場全体の出品台数は361万台（前年同期比17.3%増）、成約台数203万台

台（前年同期比6.8%増）、成約率は56.2%（前年同期実績61.8%）となりました。（※2）

このような経営環境の中、USSグループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、中古自動車等買取販売事業の減収などが影響し、売上高は309億円（前年同期比1.6%減）と減少したものの、営業利益は140億円（前年同期比5.5%増）、経常利益は142億円（前年同期比6.3%増）、四半期純利益は87億円（前年同期比10.4%増）となり、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに過去最高益を更新しました。

※1:一般社団法人日本自動車販売協会連合会、社団法人全国軽自動車協会連合会調べ

※2:月刊ユーストカー調べ



連結財務ハイライト	売上高(億円)	営業利益(億円)	経常利益(億円)	四半期純利益(億円)	1株当たり四半期純利益(円)
2013年3月期 第2四半期	309 (▲1.6%)	140 (5.5%)	142 (6.3%)	87 (10.4%)	325.42

※%表示は対前年同期増減率

## セグメント別の業績

※各セグメントの売上高は、外部顧客に対する売上高を表示しています。

前年同期は、東日本大震災やタイの洪水の影響による新車販売の落ち込みにより出品台数が大幅に減少したのに対し、当第2四半期連結累計期間は、エコカー補助金制度の実施により新車買い替え時の下取り車両が増加したことなどの影響もあり、出品台数は111万台（前年同期比9.1%増）、成約台数は67万台（前年同期比1.7%減）、成約率は60.6%（前年同期実績67.3%）となりました。

売上高は、出品台数の増加に加え、外部落札比率の上昇や外部落札シス



テムにおける落札手数料の値上げ実施による影響などにより手数料収入が増加し、営業費用は減価償却費が減少しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高225億円（前年同期比2.2%増）、営業利益137億円（前年同期比7.7%増）となりました。



テムにおける落札手数料の値上げ実施による影響などにより手数料収入が増加し、営業費用は減価償却費が減少しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高225億円（前年同期比2.2%増）、営業利益137億円（前年同期比7.7%増）となりました。

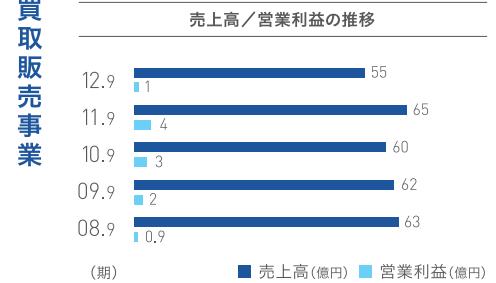
中古自動車買取専門店「ラビット」、事故現状車買取販売事業とともに、前年同期と比較して、買取台数が大幅に減少したことに加え、台当たり粗利益も減少したことから減収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高



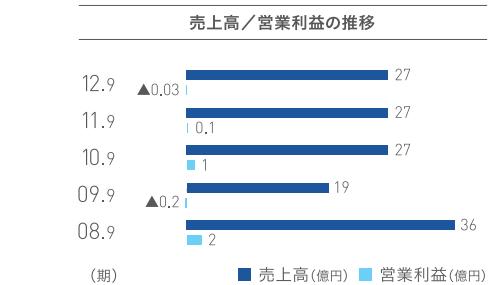
※%表示は対前年同期増減率

55億円（前年同期比15.1%減）、営業利益1億円（前年同期比53.4%減）となりました。



営業利益を確保しました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高27億円（前年同期比0.6%増）、営業損失3百万円（前年同期実績 営業利益18百万円）となりました。



※%表示は対前年同期増減率

## 業績予想について

当第2四半期連結累計期間は、中古自動車等買取販売事業において買取台数が大幅に減少したことなどにより、売上高は前回公表（2012年5月8日発表）の連結業績予想を下回りましたが、販売促進費など経費の見直しにより、営業利益、経常利益、四半期純利益については僅かに予想を上回る結果となりました。

下期予想につきましては、ほぼ前

回公表した下期の計画から変更はなく、通期の出品台数は226万台（前回公表230万台）、成約台数は140万台（前回公表と同様）、成約率は61.8%（前回公表60.9%）としております。

この結果、連結業績予想につきましては売上高642億円、営業利益290億円、経常利益292億円、当期純利益179億円を予想しております。

### 2013年3月期 連結業績予想

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	経常利益 (億円)	当期純利益 (億円)	年間配当額 (円)
前回公表予想 (2012年5月8日発表)	650	290	292	179	293
今回修正予想 (2012年11月6日発表)	642	290	292	179	301.5
増減額	▲8	—	—	—	+8.5

※2013年3月期予想の年間配当額は記念配当30円を含みます。

当社の配当に関する基本方針は、連結配当性向40%以上としております。

2012年5月8日に発表した2013年3月期連結会計年度の1株当たり年間配当金の予想は、中間配当金131円50銭、期末配当金131円50銭、オートオークション事業開業30周年記念配当30円の合計293円でございましたが、当第2四半期連結期間終了までに、自己株式141万株を

123億円で取得したことから、当連結会計年度の1株当たり当期純利益の予想が上昇するため、11月6日付けて、期末配当金の予想を131円50銭から140円に上方修正いたしました。

これにより、当連結会計年度の1株当たり年間配当金の予想は301円50銭（前期比57円50銭増配）となります。

※オートオークション事業開業30周年記念配当は、2012年9月末日の株主名簿に記載された株主の皆様に対して、中間配当と併せて実施いたしました。



※13.3は記念配当30円を含みます。

### 安定成長を裏付ける ビジネスモデル

USSの主力事業であるオートオークションは、会員である中古車取扱業者にオークションの場を提供することで、手数料収入を得るビジネスモデルです。

その収益構造は、出品会員から車両1台の出品につき出品手数料として約8,000円、その車両がオークションで成約（落札）されますと、出品会員から成約手数料として約8,000円、落札会員から落札手数料として約7,000円をいただきます。これらの手数料収入が主な売上高となります。

### オートオークション事業 国内シェア NO.1

(2012年1月～6月)

- USS 32.0%
- 大手6社 35.8%
- その他 32.2%

※大手6社:TAA(9.6%)、  
JAA(8.8%)、CAA(6.6%)、  
アライAA(4.4%)、LAA(3.2%)、  
KCAA(3.2%)

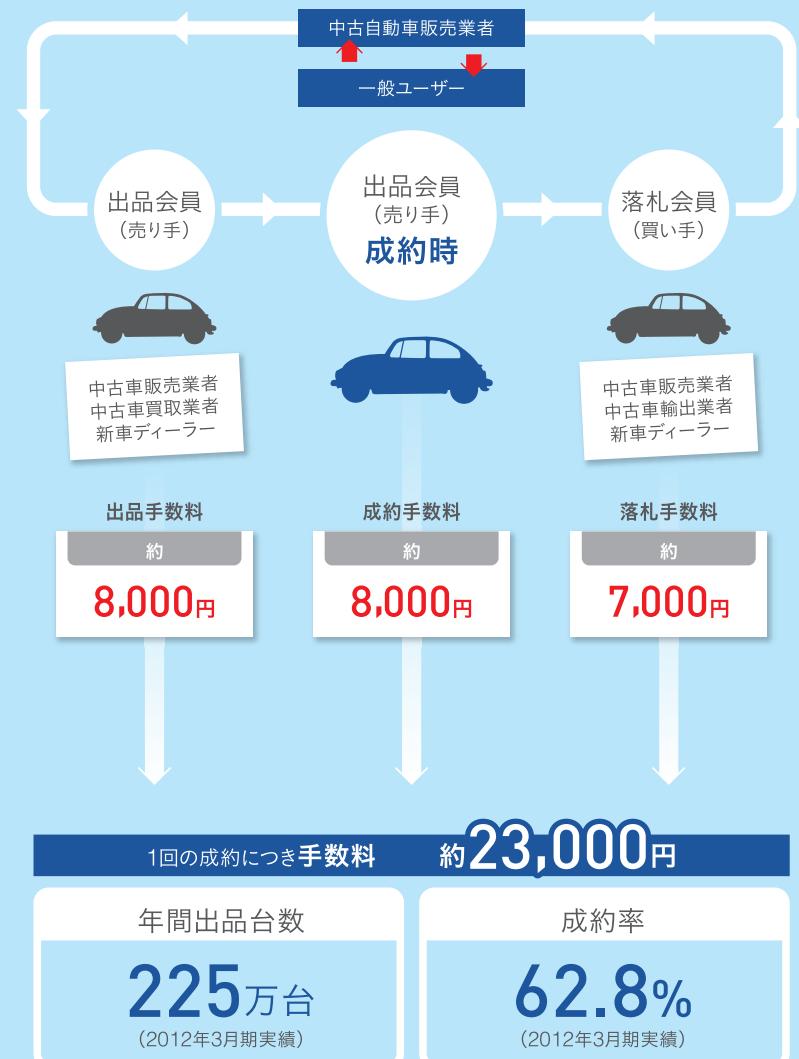


### 業界最大手 全国17会場を展開

札幌・東北・新潟・北陸・群馬・  
埼玉・東京・横浜・静岡・  
名古屋・R名古屋・大阪・神戸・  
岡山・四国・福岡・九州  
(2012年9月30日現在)



### オートオークション事業の仕組み



2013年3月期 第2四半期連結累計期間

2012年4月1日～2012年9月30日

## 01 連結経営成績

※%表示は対前年同期増減率

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	経常利益 (億円)	四半期純利益 (億円)	1株当たり四半期純利益 (円)
2013年3月期 第2四半期	309 (▲1.6%)	140 (5.5%)	142 (6.3%)	87 (10.4%)	325.42
2012年3月期 第2四半期	314	133	134	79	278.93

営業利益・経常利益・四半期純利益ともに過去最高益を更新しました。

## 02 連結財政状態

	総資産 (億円)	純資産 (億円)	自己資本比率 (%)	1株当たり純資産 (円)
2013年3月期 第2四半期	1,440	1,139	78.8	4,412.68
2012年3月期	1,546	1,210	78.0	4,450.26

自己資本比率は78.8%と高い水準を維持しています。

## 03 連結キャッシュ・フロー

	営業活動による キャッシュ・フロー (億円)	投資活動による キャッシュ・フロー (億円)	財務活動による キャッシュ・フロー (億円)	現金及び現金同等物 四半期末残高 (億円)
2013年3月期 第2四半期	79	58	▲161	262
2012年3月期 第2四半期	101	▲37	▲94	262

## 04 配当の状況

1株当たり配当金(円)	中間配当	期末配当	記念配当	合計
2013年3月期	131.5	140.0 (注1) (予想)	30.0	301.5 (注2) (予想)
2012年3月期	110.0	134.0	—	244.0

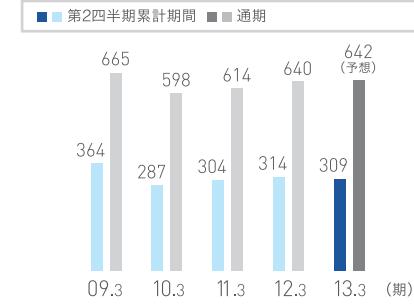
(注1)2012年11月6日付で、131円50銭から140円に上方修正いたしました。

(注2)オートオークション事業開業30周年記念配当30円を含みます。

2013年3月期 第2四半期 決算ハイライト

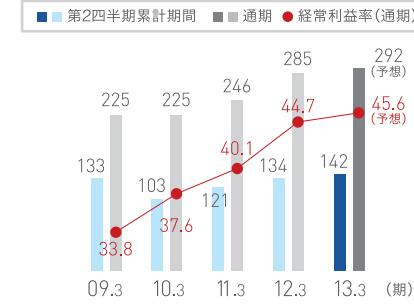
2012年4月1日～2012年9月30日

## 01 連結経営成績



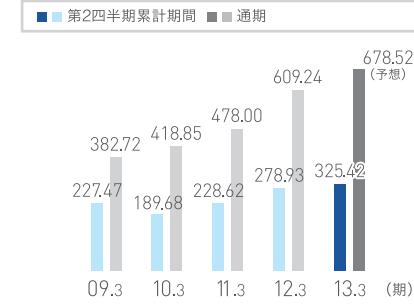
※連結売上高13.3通期は、2012年11月6日付で修正いたしました。

## 連結経営利益(億円)／連結経営利益率(%)



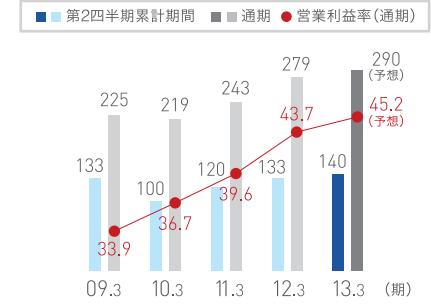
※連結経営利益率13.3通期は、2012年11月6日付で修正いたしました。

## 1株当たり当期(四半期)純利益(円)



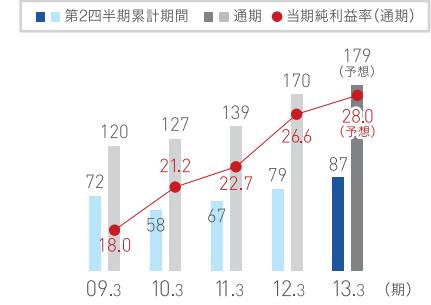
※1株当たり当期純利益13.3通期は、2012年11月6日付で修正いたしました。

## 連結営業利益(億円)／連結営業利益率(%)



※連結営業利益率13.3通期は、2012年11月6日付で修正いたしました。

## 連結当期(四半期)純利益(億円)／連結当期純利益率(%)



※連結当期純利益率13.3通期は、2012年11月6日付で修正いたしました。

## 純資産(億円)／ROE(%)



**年2回USSオリジナル  
グルメギフトを贈呈**

毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された100株以上保有の株主様に「USSオリジナルグルメギフト」をお送りさせていただいております。

**優待内容**

保有株式数に応じて季節の商品をはじめ、約30品をご用意し、ご希望の商品をひとつお選びいただけます。

**贈呈期間**

3月31日現在の株主様へは6月中、9月30日現在の株主様へは11月中の送付を予定しております。



**会社概要・株式の状況**

2012年9月30日現在

**会社概要**

商号	株式会社ユー・エス・エス	本社	愛知県東海市新宝町507番地の20
資本金	188億8,131万円	設立	1980年10月29日
従業員数	正社員:456名、パート:128名、グループ全体で正社員:1,128名、パート:257名 ※パートタイマーの人数は、期中平均(1日7時間30分勤務換算)で算出しております。	会員数	現車オークション会員 45,232社 衛星TV会員 3,788社 インターネット会員 26,628社 中古自動車買取店 180店舗 (直営店24店舗を含む)
事業内容	中古自動車のオークション運営		※会員数は、グループ全体の数字を表示しております。

**取締役・監査役**

代表取締役会長兼社長	安藤 之弘	常務取締役(オークション運営本部副本部長)	赤瀬 雅之
代表取締役副会長	田村 文彦	社外取締役	岡田 英雄
代表取締役副会長	原 重雄	社外取締役	林 勇
代表取締役副社長(オークション運営本部長)	瀬田 大	社外取締役	真殿 達
取締役副社長(埼玉会場長)	増田 元廣	社外取締役	佐藤 浩史
取締役副社長(九州会場長)	合野 栄治	社外監査役(常勤)	武井 益良
専務取締役(福岡会場長)	三島 敏雄	社外監査役(常勤)	井上 幸彦
専務取締役(統括本部長)	山中 雅文	社外監査役	大塚 功
常務取締役(東北会場長)	池田 浩照		

**大株主(上位10名)**

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ビービーエイチ フォー フィデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	2,000	7.71
ステート 街道 バンク アンド トラスト カンパニー	1,934	7.46
瀬田 大	1,500	5.78
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,023	3.94
瀬田 衛	910	3.51
安藤 之弘	909	3.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	853	3.29
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	840	3.24
株式会社服部モータース	720	2.77
公益財団法人服部国際奨学財団	700	2.70

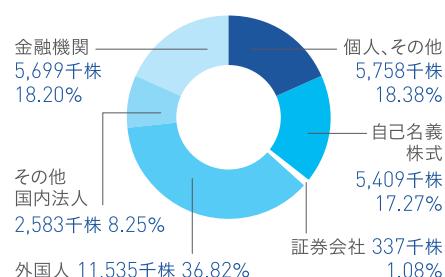
※自己株式は除く。

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

**株式数および株主数**

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式総数	31,325,000株
単元株式数	10株
株主数	7,431名

**株式の分布状況(所有者別保有株数分布状況)**



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基準日	毎年3月31日 (そのほか臨時に必要あるときはあらかじめ公告いたします)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第1部 名古屋証券取引所 市場第1部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国支店で行っております。
公告方法	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事情により電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	<a href="http://www.pronexus.co.jp/koukoku/4732/4732.html">http://www.pronexus.co.jp/koukoku/4732/4732.html</a>
証券コード	4732

### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 電子公告のお知らせ

当社は、株主の皆様からのご要望にお応えするため、上記の公告方法にて掲載された内容をメール配信するサービスを実施しております。あわせて、当社からのプレスリリースや会社説明会のご案内もいたしますので、下記のアドレスよりメール配信サービスにご登録いただき、当社をご理解いただくためのツールとしてご活用ください。

メール配信サービスをご利用いただくための専用アドレス

URL:<https://www.dirnet.jp/4732>